

国際ロータリー第 2790 地区第 5 グループ
2025-26 年度 第 36 回例会 (通算第 2726 回) 週報
2026 年 6 月 10 日 (水)

出席

会員 44 名 出席 25 名 欠席 19 名

出席率 60.97% (25/41)

修正前出席率 65.85%

修正後出席率 82.92%

欠席者【敬称略】

内田(慎)・江崎・大里・金見・小島・嶋津・四宮・鈴木(秀)・
鶴岡・濱田・林田・藤田・松岡・宮寺・渡邊(慎)・佐藤

メイクアップ【敬称略】

6/5 第 5 グループ新旧会長幹事会

渡邊(慎)、松岡、佐藤、大里、倉島、吉田

◆四つのテスト

外崎広旭会員



例会

■司会進行

平野秀和副 S.A.A.



◆点鐘

吉田和義会長

◆R ソング斉唱

「我等の生業」

◆ゲスト・来訪ロータリアン紹介

吉田和義会長

○国際ロータリー第2790地区ロータリー米山奨学生 ^{ハンチン} 範琴様

◆米山奨学金授与

吉田和義会長

○国際ロータリー第2790地区ロータリー米山奨学生 範琴様



会 長	吉 田 和 義
幹 事	倉 島 和 広
会報・IT 活用委員会委員長	阪 中 昌 司
副委員長	大 岩 も え

RI 会長	フランチェスコ・アレツツォ
ガバナー	時 田 清 次
ガバナー補佐	渡 邊 慎 司



◆誕生日祝い
藤野宏治会員(5/28)

吉田和義会長



◆私の記念日祝い
宮寺順子会員(6/6)

吉田和義会長

◆ホテルへのお礼
ホテル側はお礼を辞退し遠山誠一郎会員が挨拶

吉田和義会長



会場として、約8年使っていただきまして本当にありがとうございます。いろいろな事情で前会場から動いてきたわけですが、会費等の関係もありまして、次年度から木更津商工会館へ移転ということですが、当然私もそちらの方に引き続き参加させていただきます。これまでの間、決してご満足いただけていない部分もあったかと思いますが、行き届かない部分もあったかと思いますが、お許しいただければと思います。先ほど会長からお話がありましたが、お礼の方は辞退ささせていただきます、その分、ロータリーの活動費に活用していただきたいと思います。

例会場は変わりますが、ホテルは残っていますので、ぜひ個人並びにそれぞれの事業所の方で、ご利用いただく機会がございましたら、ぜひお願いしたいと思っています。再びこの会場に、ロータリーの皆様方の清らかな声が響くことを願ひまして、お礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

◆会長挨拶・報告

吉田和義会長



皆さま、本日は6月第2例会にご出席いただき、ありがとうございます。

まずは前回例会から本日までの当クラブの動きです。月・火と事務局を訪問し、懸案となっておりますズームの契約と、実際にオンラインでの対応のための予行演習を行いました。理由は分かりませんが、使用料のカード決済がキャンセルされていたことが判明し、改めて1年分前払の有料契約をいたしました。更新は自動更新です。

さて、私の会長任期も残すところ3週間となりました。今日はこの1年を通じて私自身が感じたことを、少しでも共有させていただきたいと思います。

今年度、2790地区の時田清次ガバナーは「自分もクラブも成長しよう(Grow Rotary)」というスローガンを掲げられました。クラブがどれほど成長したかは、皆さまのご判断に委ねたいと思いますが、少なくとも私は、この1年で確実に成長させていただいたと感じています。会長就任にあたり、ある会員の方から「吉田さんは全部自分でやっちゃいますか」と声をかけられました。この言葉がずっと心に残っています。実際、私は何事も自分でやらないと気が済まない性格で、人に任せることが得意ではありません。その性格を、その会員さんはよくご存じだったのだと思います。同じ課題は、会社でも抱えていました。会長職で忙しくなることが分かっていたため、社員には「自分たちで考えて行動してほしい」と伝え、私は口を出しすぎないように努めました。自分がいなくても回る組織にするための挑戦でした。しかしその結果、目が行き届かず、長年お付き合いのあった関与先から解約をいただくという痛い経験もしました。それでも担当者を責めることはせず、むしろ経験の浅い担当者を育てることに理解を示し、協力して下さった関与先もありました。最近になって、ようやくその成果が見え始めています。この経験は、ロータリーの運営にも重なり

ります。会長として、すべてを自分で抱え込むのではなく、委員長や会員の皆さまに任せ、信じ、見守ること。その積み重ねがクラブの活性化につながったか否かはともかく、私自身の成長にはつながったと実感しています。

任期はあと3週間ですが、まだやるべきことがあります。1年間の活動報告はアワーで改めてお話ししますが、今日はまず、「任せることの大切さを学ばせていただいた1年だった」ということを、皆さまにお伝えしたく、この場をお借りしました。残りの期間も、どうぞよろしくお願いいたします。

◆幹事報告

倉島和広幹事



1. 第12回理事会報告

出席者 7名

＜審議事項＞

1) 2026年5月分収支報告の件

→ 承認されました

2) ZOOMの件

→ 承認されました

2. 幹事報告

- 1) 今月のロータリーレートは159円となっております。
- 2) 本日の例会アワーは「1年を振り返って」となっております。当各委員長に1年間の委員会報告を発表していただく予定です。先日の現新クラブ協議会において発表されたものをご準備下さい。
- 3) 次の例会は最終例会となります。例会場を変更して夜間例会(移動例会)場所は東洋で開催となります。
- 4) 7月より例会場が変更となります。木更津商工会議所3Fとなりますのでお間違えないよう宜しくお願い致します。

3. 他クラブからのお知らせ

- 1) 市川シビックロータリークラブ様より新事務局の御連絡が届いておりますので回覧いたします。

4. その他のお知らせ

なし

5. 回覧

- ・市川シビックロータリークラブ様より新事務局の御連絡

◆委員会報告

◇ロータリーの友6月号紹介

雑誌・姉妹クラブ担当委員会 遠山誠一委員長



今月6月号の読みどころの紹介は、縦組み誌面から始めます。

横組み誌面の2ページから「食べる人だけでなく、作る人も笑顔にしたい」とのテーマで、有楽製菓株式会社取締役会長の河合伴治(ともはる)氏の講演内容が掲載されています。河合氏の会社有楽製菓の看板商品は「ブラックサンデー」というチョコレートのお菓子です。ご存じの方も多いかと思いますが、6ページの上段に写真が載っています。一つひとつ個別包装になっていますが、スーパーやコンビニ等ではファミリーパックと呼ばれる大袋に入って売っています。このブラックサンデーを作るためにはチョコレートの原材料となる大量のカカオ豆が必要となりますが、西アフリカ諸国のカカオ豆の生産現場では多くの子供たち(14歳未満)が働いている、いわゆる児童労働の実態があるとのこと。本来教育を受けるべき年齢の子供たちが教育を受けずに大人と同じように働き(カカオの木を登っての高所作業・ナタを使う危険作業)健康的な成長も妨げてしまう深刻な問題が横たわっていることを知った、河合氏と会社は児童労働撤廃に向けて動き出しました。具体的には、児童労働の有無をチェックし、児童労働に関わっていないカカオ豆農園・生産者には通常のカカオ豆の購入代金にお金を上乗せして支払うことにより、児童労働が無くても生産者や農園が利益を確実に確保できるような独自の取引システムを導入したとのこと。低価格で安易に確保できるカカオ豆とは縁を切り、人道問題解決や社会貢献へと舵を切った経営転換を図ったわけです。この記事は、ブラックサンデーで、食べる人だけでなく作る人(カカオ豆を生産する人)も含めたみんなを笑顔にしたいという、河合さんと会社の強い思いを感じ取る秀逸の講演記事です。有楽製菓のHPにも「スマイルカカオプロジェクト」として更に詳しく紹介されています。会員の皆さんも、ブラックサンデーを食べる際には、そのサクサクとした触感や美味しさだけでなく、河合会長と会社の熱い思いを是非しっかりと噛みしめていただきたいと思います。

このほか今月6月がロータリー親睦活動月間であることに

因み、横組み記事の5ページから国際ロータリーが認定した親睦活動グループが紹介されています。世界には120以上の親睦活動グループがあり、各グループのWebサイト又はFacebookもあるようですので、興味のあるグループの活動内容を覗いてみては如何でしょうか。

以上で6月号の紹介を終わります。一年間拙い内容をお聞きいただきありがとうございました。

◇次期青少年奉仕委員会

渡邊元貴委員長



次年度、青少年奉仕委員会の委員長をさせていただきます渡邊でございます。5月の末に岩根小学校の校長先生と教頭先生、そして岩根のジェスパル、そしてロータリークラブで次年度の味噌づくりのスケジュールについて打ち合わせを行い、昨日岩根小学校において種まき、そして収穫までの役割分担と日程を決めることができました。皆様には、改めましてご案内をさせていただきますが、種まきが6月30日の火曜日、9時15分からの2時限目を使ってやらせていただくということと、予備日として、7月3日の金曜日も予定することとなりました。7月の中旬には捕植も行いまして、収穫までの水やりをジェスパルさんが協力してくれるということです。今の時点で、その収穫日を決めることはできませんので、まずは種まきのスケジュール、6月30日か7月3日がイベントになっておりますので、これをご案内しておきたいと思います。

◆ニコニコボックス報告 親睦出席委員会 叶川博章委員長



○藤野宏治会員

国際奉仕・ロータリー財団委員長の藤野です。本年度御協力ありがとうございました。次年度も引き続き、年次基

金、ポリオプラスへの御協力をお願いいたします。

○阪中昌司会員

会報・IT活用委員長の阪中(さかなか)です。1年間、週報作成等の運営にご協力頂きましてありがとうございました。

○叶川博章会員

一年間、親睦・出席委員会の活動に御協力頂き有難うございました。来週の夜間例会も宜しく願い致します。

○青木和義会員

会員の皆様のご協力で、委員会の役割を果たすことが出来ました。ありがとうございました。

○石井文子会員

今年一年お世話になりました。

○遠山誠一会員

長らく当ホテルを御利用いただき誠にありがとうございました。

○吉田和義会長

本日は1年を振り返ってのアワーです。各委員長のみなさま、よろしくお願いいたします。

○倉島和広幹事

幹事として実質最後の例会となりました。この1年本当にありがとうございました。至らぬ点も多々あったと思いますが、皆様のご協力で何とか乗り切ることが出来ました。今日の1年の振り返り例会も、よろしくお願いいたします。また、東洋からイベントのご案内です。今回は「海と山が出会う房総の恵み」がテーマです。残り1組3名様、御席があります。先着順となり直近で誠に恐縮ですが、ご案内させていただきます。

◆出席報告

親睦出席委員会 叶川博章委員長

■例会アワー

「1年を振り返って」
司会 倉島和広幹事



◇吉田和義会長



今年度、私はクラブテーマとして「良いことで結束しよう」を掲げました。

近年、地域との交流が減少し、また会員の高齢化による活動の停滞という課題があるのではないかと感じていました。そこで、老若男女問わず参加できる活動を通じて、クラブの結束を高め、地域とのつながりをもう少し強めたいという思いを込めたテーマでした。その思いに応えるように、今年度は多くの場面で会員の皆さまの力が結集されました。

味噌作りプロジェクトやハイキングでは、多くの会員が時間を割いて参加してくださり、まさにテーマ通りの「結束」を感じる活動となりました。

また、ガバナー補佐輩出クラブとして、ラーニングセミナー、インターシティーミーティング、第5グループゴルフコンペにも多くの会員が参加し、運営面でも大きな力を発揮していただきました。

これらの活動に積極的に参加し、支えてくださった会員の皆さまに、改めて深く感謝申し上げます。

一方で、やっさいもっさいへの参加については、申込スケジュールの知識不足により参加が叶わず、非常に残念な結果となりました。この反省を次年度は引き継いでいただければと思います。

また、今年度はBIG&Rの会の幹事会が復活し、各団体との情報共有が再び動き始めたことも大きな前進でした。地域との連携を深める基盤が整い始めた一年でもあったと感じています。

一年を通じて、皆さまの温かいご協力と積極的なご参加により、クラブテーマである「良いことで結束しよう」をある程度は体現できたのではないかと感じております。この結束が、来年度以降のさらなるクラブの活性化につながることを心より願っております。皆さま、本当にありがとうございました。

◇倉島和広幹事



この1年は長いようで今思えば、物凄く早かった1年でした。7月の太田山早朝例会に始まり、第5Gと共に楽しかったBBQ例会。地区大会への参加やラーニングセミナー・第6Gとの共催となったIMなど。

ガバナー補佐排出クラブとしてのプレッシャーもあり、皆さんをまとめなきゃと思って焦った時もありましたが、会長をはじめ各委員長や会員の皆さんに助けられて何とかやってこれたと思っております。余計な心配しなくてもみんなちゃんとやってくれてうれしかったです。

特に吉田会長には公私ともにずいぶんとお世話になりました。ややこしいことや予算・会計・委員会構成などなど、ほとんどまかせっきりだったと思います。その辺に関しては本職なんで、あえて甘えさせていただきましたが…楽をさせてもらいました。ありがとうございました。

◇S.A.A.

大里光夫委員長
加藤智生副 S.A.A. 代読



担当例会においては、突然の変更においても副S.A.A.の協力のもと無事例会進行をすることが出来ました。

また、会員が会場入りする際「くじ引き」をしていただき、入会歴の長い会員と新しい会員とが交流を持てるような工夫が出来ました。クラブ管理運営委員会の皆様にはご協力いただき感謝申し上げます。

移動例会や親睦例会では、担当委員会の方に支援いただき滞りなく会が進行できましたこと感謝申し上げます。次年度からは会場変更に伴い運営が従前と違うことも有ろうかと思っています。次年度を意識的にサポートしていきたいと思いま

す。

◇クラブ管理運営委員会

鶴岡大治委員長
倉島幹事代読



クラブ活動の根幹である例会運営にあたっては、概ね節度のあるものができたと思っております。

また、会員歴の異なる会員同士の交流については、SAAの指導の下、くじなどを用いて席を固定化しないように努めました。

◇親睦・出席委員会

叶川博章委員長



板谷会員の転勤により、昨年4月から委員長として活動して参りました。当委員の皆さん、事務局の清水さん、そして会員の皆さんのご協力に感謝申し上げます。

通常例会では、明るいお出迎えに努め、ニコニコボックスの発表は委員全員が交代で担当しました。

7月の納涼例会は他クラブの会員14名の参加を得て総勢43名で賑やかで楽しい会になりました。クリスマス例会は近藤会員のご協力で君津在住のジャズシンガー「ミホ」さんによるクリスマスソングを聞きながらの食事、抽選会、そして吉田会長から会員の奥様方へのお花のプレゼントと年末に相応しい楽しい会となりました。

4月のハイキング例会は、青少年奉仕委員会の主導、当委員会はサブという形で「いっせんぼく」を歩きました。好天でもあり参加者は汗をかきながらウォーキングを楽しみました。

内田委員長に感謝申し上げます。6月の最終夜間例会まで気を引き締めて努めて参ります。

◇プログラム委員会

石束貴委員長



卓話について、外部卓話5回、会員卓話1回を実施できました。調整不足のため、外部卓話2回分が実施できなかったことが反省点です。皆様の温かい協力でなんとかスケジュールをこなすことができました。おかげさまで、外部卓話の方が会員になっていただきました。

◇姉妹クラブ担当委員会

遠山誠一委員長



《雑誌》

毎月、第二例会日において、「ロータリーの友」の記事の中から2点~3点を紹介し、国内外のロータリー活動に関する情報を共有し当クラブの活動に資するよう、努めました。

ロータリーの友を毎月熟読し例会で記事を紹介することによって、自分自身にとっても、他クラブの活動内容やロータリーの目的・基本的な理念などを学ぶことができ、非常に有意義な年度となりました。

《姉妹クラブ》

年度の初例会において、坂出東RCとの間で新年度会長挨拶の交換、クラブ計画書の交換を行いました。

また、当クラブがホストクラブとなった第5・第6グループIMの開催にあたり、坂出東RCから前田直俊パストガバナー、前田直宏会長及び大屋聡規地区RLI委員長が来訪されました。

IMでは前田直俊パストガバナーに基調講演をいただき、IM閉会後に木更津市内で開催された懇親会(二次会)では大屋聡規委員長と共に当クラブ会員との交流を深めていただきました。

なお、5月27日に予定していたオンライン形式による合同例会については、私の不手際等により中止となり、誠に申し訳ありませんでした。

◇会報・IT活用委員会

阪中昌司委員長



週報に関しては、翌週の例会に間に合うように作成することに努めました。卓話者の方の速やかな原稿のご提出等のご協力と生成AIの活用である程度やり切ることが出来たと思います。

ホームページも例会報告と週報の掲載を1週間以内に行うよう努めました。

フェースブックに関しては、イベントを中心に投稿しましたが、頻度も少なく、十分に会の活動をアピールするには至らなかったと反省しています。

◇会員増強・ラーニング委員会

宮寺順子委員長

倉島幹事代読



ロータリーをより深く理解し、多くの方々にその魅力をお伝えするために、東京西ロータリークラブ、愛宕ロータリークラブ、横浜ロータリークラブへのメイクアップを行い、100名を超える会員の皆様の活動や交流に触れ、ロータリーの新たな魅力や活動について学ばせていただきました。

その結果、委員会メンバーのみなさまのご協力をはじめ、吉田会長、倉島幹事、そして会員の皆様のお力添えにより、2名の新入会員をお迎えすることができました。

当初掲げておりました「最低3名」の目標には至りませんでしたが、会員の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

1. 会員増強目標人数3名の目標は会員の皆様のご協力を頂

きましたが、残念ながら2名の入会に留まりました。

2. 新会員オリエンテーションを2回行いました。
3. ロータリーの理念や活動の魅力を新会員候補者に伝えました。
4. 退会防止を配慮する為、例会欠席の多い会員へ例会への参加をお誘いしました。
5. 地域との連携を深め、ロータリーの活動を地域に浸透させ、新会員獲得へ繋げる努力をしました。

◇ラーニング委員会

松岡邦佳委員長

倉島幹事代読



1. 例会プログラムを活用した学習の機会の提供

ラーニング委員会では5月13日の例会アワーにてガバナー補佐・補佐幹事のリレー卓話を行い、ガバナー補佐としての1年間の振り返りや、グループ事業・ラーニングセミナー・インターシティミーティングについての振り返りを行いました。

2. グループの開催するラーニングセミナーやIMの積極的参加

11月に開催されたラーニングセミナー、2月に行われたインターシティミーティングに多くのメンバーが参加し多くの気づきと多くの仲間づくりをすることができました。

3. RI第2790地区のラーニング系セミナーへの参加

地区のラーニング系セミナーとして11月にラーニング系3委員会のセミナーには出席者1名が、9月から11月に行われたRLIパートシリーズには延べ1名が参加し地区のセミナーにおいて学習する機会を得ることができました。



吉田会長の掲げた活動方針、「ロータリーの基本である職業奉仕の精神を会員の皆様に認識して頂く事」、「普段触れる事の無い事業所における、職場見学をする事」を念頭に活動してまいりました。期の途中で大隅会員が退会されたのは残念ですが、会員の皆様のご協力を頂きで、おかげさまで下記の通り役割を全うする事が出来ました。

1. 11月第2例会（卓話）

ロータリーの金看板「職業奉仕」を学ぶことを目的に、元クラブ会員で、現役時代に「職業奉仕」を熱く語った青山俊氏をお招きし、「私にとっての職業奉仕」をテーマにスライドを紹介しながら、お話しして頂きました。経営陣と衝突しながらも顧客本位を貫いたエピソードが印象的でした。

2. 1月第2例会（企業訪問）

遠山会員のご協力で、アカデミアパーク内にあり、不燃断熱パネルで業界屈指の業績を上げている「たつみ工業株式会社」を訪問しました。「たつみ三義」を信条に経営され、講演と工場見学を通して、人と環境にやさしい世界の創造を目指す経営姿勢に学ぶことは多かったと思います。

3. 3月第3例会（企業訪問）

コロナ禍以来、大きく変わった葬儀業界の中で、地域の信頼も厚い老舗葬儀店、渡部会員の会社でもある株式会社鹿島商店を訪問しました。葬儀スタイルの多様化や、ネット業者も加わり業者間での激しい競争の中で、トラブルも多く発生している業界の現状や災害時での業界ならではの奉仕活動など紹介いただきました。

以上、一回の講演と、二回の企業訪問から、ロータリーの基幹である職業奉仕をわずかでも感じて頂ければ幸いです。



良いことで結束しよう」をテーマに、環境と地域に寄り添った奉仕活動に取り組んでまいりました。

1. 7月30日（水）に7月第4例会（移動早朝例会）太田山公園清掃活動を実施しました。当日は、ボーイスカウト・ガールスカウト・インターアクト部並びに多くの会員に参加いただきました。また、今回は学生のゲストにも参加を頂き、我々の活動を知ってもらえる機会となりました。ご参加頂きました、すべての皆様に心から御礼申し上げます。

2. 青少年奉仕委員会が主体となり実施しました、岩根小学校での、味噌作りプロジェクトの支援を行いました。本事業は、継続することにより、その価値を高め、地域社会への貢献へとつながる大変意義深い取り組みだと感じました。内田委員長はじめ、携わって頂いた皆様に、心から御礼申し上げます。

3. ペットボトルエコキャップ活動の支援を行い、収集したペットボトルエコキャップを木更津総合高校インターアクト部へ贈呈しました。

◇青少年奉仕委員会

内田慎一郎委員長

倉島幹事代読



1. インターアクト関係

1) 7月9日 インターアクト合同会議に参加 千葉市民会館

2) 8月20日 第58回インターアクト年次大会に参加 葉

県南総文化ホール

- 3) 8月23日 危機管理セミナーに参加 TKP ガーデンシティ千葉
- 4) 9月24日 インターアクト合同会議に参加 千葉市民会館
- 5) 11月29日・30日 インターアクト部台湾来日国内合同研修に延べ3名が参加 千葉経済大学附属高校他で開催
- 6) 12月18日 インターアクト部のクリスマス会に参加
- 7) 12月22日 歳末助け合い募金活動を木更津駅前で開催

2. BIG&R の会関係

- 1) 7月30日 大田山清掃早朝例会を BIG と共に開催 大田山公園
- 2) 11月19日 令和7年度第1回 BIG&R 幹事会を開催 中国料理 東洋
- 3) 4月7日 令和7年度第2回 BIG&R 幹事会を開催 中国料理 東洋

3. 味噌作り関係（岩根小学校にて）

- 1) 7月1日 大豆の種まき
- 2) 10月16日 枝豆収穫 調理室にて4年生が試食
- 3) 12月2日 大豆収穫 収穫後1ヶ月程度乾燥
- 4) 2月16日～18日 味噌仕込み作業 調理室にて4年生と共に作業

4. 担当例会

- 1) 4月19日 ハイキング例会 いっせんぼくへのハイキングを企画（71名の参加）
- 2) 5月20日 インターアクト部顧問米本先生と、生徒による卓話

◇国際奉仕・R 財団委員会

藤野宏治委員長



年次基金寄付:341,000円

ポリオプラス:190,000円 を達成

例会にて、ロータリー財団の歴史・活動・意義について卓話させていただき、寄付の大事さについて認知を図りました。

味噌づくりプロジェクトの地区補助金の活動報告の手続き及び、例会にて地区補助金について解説し今後の活用についての認知を図りました。

ポリオプラス関連の活動には、体調の都合でブルーベリラン不参加につき、引き続き次年度参加をいたします。

◇米山記念奨学会・ポリオプラス委員会 石井文子委員長



《ポリオプラス委員会》

2025年10月26日、館山市城山公園で行われた地区啓発イベント「ランタンに想いを込めて」に参加しポリオ根絶への想いを共有し繋いで参りました。

12月3日には堀内正人会員の卓話を頂きポリオについて深く理解ができました。

お陰様で会員1人当たり30ドルのご寄付という目標を達成することができました。

《米山記念奨学会委員会》

10月27日にネパールご出身の奨学生の方にご来訪頂き誠実な学ぶ姿勢に感銘を受けました。お一人当たり2万円のご寄付目標も達成できました。

◆点鐘

吉田和義会長

例会日：毎週水曜日 PM12:30～1:30

例会場：オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111

事務局：木更津市朝日1丁目2-29 シグママンション朝日B棟105号

TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

木更津東ロータリークラブ事務局メールアドレス

eastkisarazu-rc@nifty.com